



ポイントの復習

レジデンストラックとビジネストラック

注意すべきポイント

- 14日間の**宿泊施設(待機施設)**は緩和されていない。
 - 待機場所は、個室、バス、トイレの個別管理等ができる施設。
(個室の外にキッチンなどの共用スペースがある場合は、利用禁止 → 共用のバストイレも禁止)
→ **3LDでも4LDKでもバストイレが1箇所なら定員は1名**
- 全世界から**経由便(トランジット)**は利用可能だが、**ビジネストラック**では使えない。
 - 経由便はレジデンストラック。
- 空港で**スマホ自体の確認**をされることは**ない**。
- **誓約書**には**国税庁発行の法人番号**を記載する必要がある。
- **誓約書の原本**は、受入団体が**入国から6週間**保管する必要がある。
- **誓約書**には**印鑑は不要**。日本政府は自署を求めている。
印刷でもOK。 ※但し外国政府は要確認、自署要求される場合も有ります。